

THE
WORLDFOLIO



藤澤信義

Jトラスト株式会社代表取締役社長

藤澤信義氏は 2008 年、TOB により現 J トラストグループ前身の筆頭株主となりました。以降、藤澤氏は J トラストグループを成長に導く立役者となり、戦略的な M&A で事業領域を拡大させるとともに、投資活動を通して、東南アジア、日本、韓国、インドネシア、シンガポールでのビジネス・ネットワークを育んでいます。

学歴

大学名・専門

東京大学医学部卒業

経歴

2007 年 8 月	かざか債権回収株式会社(現 パルティール債権回収株式会社)代表取締役会長
2008 年 6 月	当社代表取締役会長 株式会社マスワーク(現 キーノート株式会社)取締役
2010 年 6 月	当社取締役
2010 年 10 月	当社取締役最高顧問
2011 年 6 月	当社代表取締役社長(現任)
2013 年 10 月	J TRUST ASIA PTE. LTD. 代表取締役社長(現任)
2014 年 1 月	親愛貯蓄銀行(現 JT 親愛貯蓄銀行)株式会社会長
2015 年 3 月	JTキャピタル株式会社取締役会長(現任)
2015 年 6 月	PT JTRUST INVESTMENTS INDONESIA 代表理事(現任)
	当社代表取締役社長 最高執行役員(現任)
	アドアーズ株式会社取締役(現任)

専門分野

産業／セクターで貴方の専門、又は持っている特別なスキル

金融、不動産、エンターテインメント業界

今までのキャリアで学んだ教訓と、それらを経営にどのように取り入れていますか？

私は、数多くの「失敗」を経験してきました。事業では、成功より失敗することの方が多かったと思います。ですが、その失敗は、大失敗というわけではなく、成功については大成功であったと思います。なぜなら10の事業に投資して、そのうち8の事業が失敗したとしても、残りの2つが当初の2倍になれば、大成功だと考えるからです。

但し、失敗の度合いについては細心の注意を払っています。もし失敗が大きすぎると、全てがそこで終わってしまうので、その場合は大失敗に至らぬよう、躊躇せずに見切りをつけます。ビジネスを大成功に導く心構えは、孫 武の「敵(人・歴史)を知り己を知れば百戦危うからず」を思い出してください。歴史とは、人間の本性を反映して繰り返されてきたもの。歴史をきちんと理解していれば、次の方向性が見えるはず。例えば人間の強い欲求は、不動産市場の歴史に良く反映されていると思います。

不動産市場で過剰投資が行われると市場にゆがみが生まれ、そしてまた投資のチャンスが生まれます。

また、ビジネス交渉をする際には、相手の立場になって考えることが一番重要です。交渉を成立させる鍵は、相手の望むものを考える(敵を知る)ことです。

私はこれらの教訓を経営に活かすべく、社員には責任の所在を明確にさせた上で、多くの失敗をさせ、また各自の裁量で仕事を任せています。結果は数字で全て明らかになるはず。みんなより良い生活をしたいと考えていますし、社内でできるだけ多くの百万長者を作りたいです。

恩師

特には思いつきませんが、強いて言うならば、私の恩師は、私が30歳の時に勤めていた不動産会社の社長で、私の仕事を認めてくれました。

格言

孫武の言葉、「敵(人・歴史)を知り己を知れば百戦危うからず」

以上